



平成 24 年 9 月号



# 概況

---

最近の県内経済は、個人消費の一部で上向きの動きがみられるなど、全体に緩やかな持ち直しの動きが続いている。

まず、個人消費関連をみると、大型小売店販売は2ヶ月連続のマイナスとなった。自動車販売は、登録車、届出車ともにプラスとなり、全体では10ヶ月連続のプラスとなった。

住宅建設は分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少し、全体では3ヶ月ぶりのマイナスとなった。公共投資は3ヶ月ぶりのプラスとなった。国、県が増加し、独立行政法人等、市町村は減少した。

生産関連の動きをみると、鉱工業生産指数は前月比3.1%低下の103.3となった。一次産業関連をみると、23年県産リンゴ販売は、消費地市場価格が記録的な高値で推移している。八戸港水揚げは数量が減少したものの、金額は増加した。

この間の雇用情勢は、有効求人倍率が前月比0.02ポイント低下し、0.59倍となった。2ヶ月連続で低下したものの、これまでの推移をみると比較的高めの水準にある。

**個人消費** 7月の**大型小売店販売額**(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比1.7%減となり2ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同2.7%減と5ヶ月ぶりのマイナス、スーパーは同1.4%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。7月の**自動車販売台数**は、登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比30.1%増と10ヶ月連続のプラスとなった。登録車が同29.1%増と11ヶ月連続、届出車は同31.5%増と10ヶ月連続のそれぞれプラスとなった。

**住宅投資** 7月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比10.4%減の541戸と3ヶ月ぶりのマイナスとなった。分譲住宅が同191.7%増となったものの、持家は同9.9%減、貸家は同38.2%減となった。

**公共投資** 7月の**公共工事請負額**は全体では前年同月比27.8%増の215億3,100万円となり、3ヶ月ぶりのプラスとなった。国が同46.8%増、県が同42.8%増となった。一方、独立行政法人等は同53.5%減、市町村は同22.8%減となった。

**一次産業** 農林水産省東北農政局の調査によると、**24年産水稲**の県平均作柄(8月15日現在)は「やや良」と見込まれている。作柄地帯別にみると、青森、津軽、南部・下北とも「やや良」と見込まれている。7月の**23年県産リンゴ販売**は県外出荷量が前年同月比48.7%減、県外市場販売額は同15.0%減となった。消費地市場価格は同67.4%上昇の487円/kgと高値が続いている。7月の**八戸港水揚げ**は大中型旋網漁が減少したものの、イカ釣り漁の水揚げが大幅に増加した。全体では数量が前年同月比7.5%減、金額は同10.2%増となった。

**生産活動** 6月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は、前月比3.1%低下の103.3となった。原指数では前年同月比0.6%上昇の101.9となった。一般機械、電子部品・デバイス、電気機械は海外経済減速の影響などから増勢に鈍さがうかがわれる。鉄鋼、パルプ・紙は緩やかな持ち直しの動きがみられる。

# 一 次 産 業

## 米

### 24年産水稻の作柄は「やや良」の見込み

農林水産省東北農政局の調査によると、青森県の平成24年産水稻の県平均作柄(8月15日現在)は「やや良」と見込まれている。出穂最盛期は平年より1日遅い8月8日となった。穂数は5月下旬から6月上旬にかけて気温が平年を上回ったことなどから「やや多い」となった。1穂当たりもみ数は7月の気温、日照時間が平年を上回ったものの、穂数がやや多いことの相反作用が見込まれ、「平年並み」となった。全もみ数は「やや多い」と見込まれている。また、登熟は穂ばらみ期から出穂期にかけての高温・多照により順調に推移しているとみられ、「平年並み」と見込まれている。

作柄表示地帯別にみると、作柄は青森、津軽、南部・下北地帯とも「やや良」と見込まれている。出穂最盛期は青森地帯が平年より3日、津軽地帯が1日、南部・下北地帯が2日遅かった。全もみ数は青森地帯、津軽地帯が「やや多い」、南部・下北地帯が「平年並み」、登熟は青森地帯、津軽地帯が「平年並み」、南部・下北地帯が「やや良」と見込まれている。

平成24年産水稻の作柄概況(8月15日現在)

作柄表示地帯	出穂最盛期			(平年比較)				
	本年	対平年差	対前年差	作柄の良否	穂数の多少	1穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否
<b>県平均</b>	<b>8月8日</b>	<b>1日遅い</b>	<b>2日遅い</b>	<b>やや良</b>	<b>やや多い</b>	<b>平年並み</b>	<b>やや多い</b>	<b>平年並み</b>
青森地帯	8月11日	3日遅い	4日遅い	やや良	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
津軽地帯	8月7日	1日遅い	1日遅い	やや良	多い	やや少ない	やや多い	平年並み
南部・下北地帯	8月10日	2日遅い	4日遅い	やや良	平年並み	平年並み	平年並み	やや良

資料出所：農林水産省東北農政局

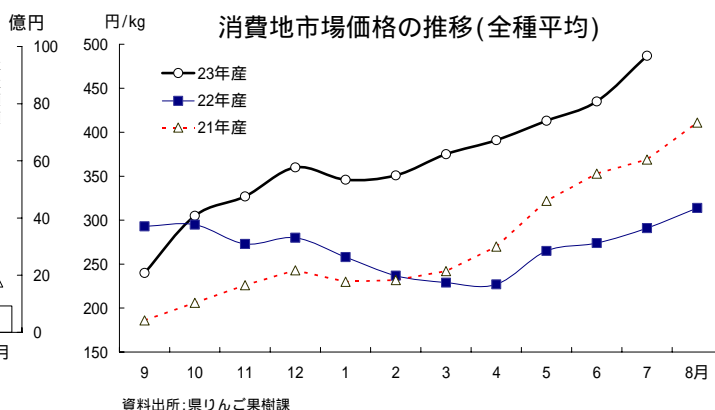
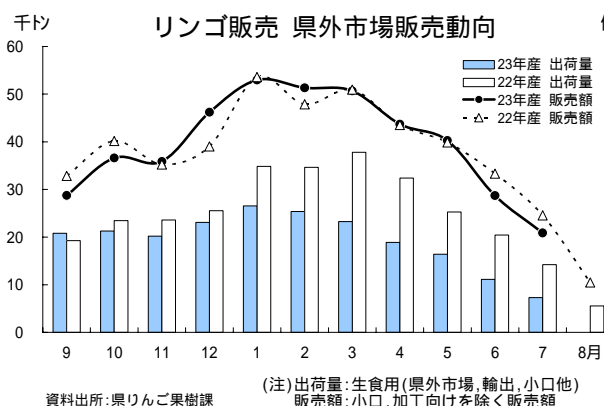
(注) 出穂最盛期とは、出穂済み面積割合が50%に達した期日。

## りんご

### 消費地市場価格、前年同月比67.4%上昇の487円/kg

23年県産りんご販売、7月の県外出荷量は前年同月比48.7%減の7,291トンとなった。これは前3ヶ年の7月平均出荷量を40.8%下回る水準である。消費地市場価格は品種別にみると「ふじ」が前年同月比67.2%上昇の505円/kg、ジョナゴールドが同88.3%上昇の497円/kgとなった。合計では前年同月比67.4%上昇の487円/kgとなり、前3ヶ年の7月平均価格を47.6%上回る水準となった。この結果、県外市場販売額は前年同月比15.0%減の34億8,100万円となった。

23年産県産りんご販売は、終盤を迎え市場へ入荷が少なくなっていることに加え、品質が良好なこと、消費者の根強い需要が続いていることなどから、記録的な高値で推移している。



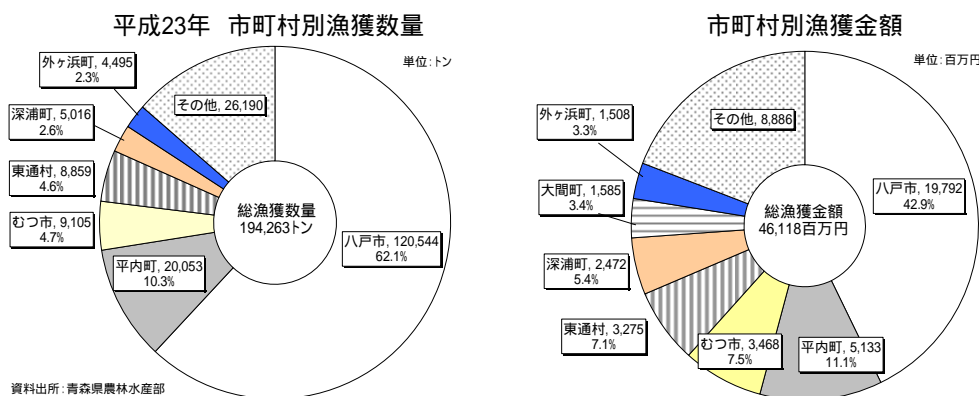
## 海面漁業

### 平成 23 年海面漁業、八戸市の漁獲数量は全体の 6 割

青森県海面漁業に関する調査結果書(属地調査)によると、平成 23 年の漁獲数量は前年比 21.3%減の 19 万 4,263 トン、漁獲金額は同 11.0%減の 461 億 1,797 万円となった。

市町村別(対象 22 市町村)に漁獲数量をみると、八戸市が 12 万 544 トンで最も多く、全体の 62.1%を占めた。次いで平内町が 2 万 53 トン(10.3%)、むつ市が 9,105 トン(4.7%)、東通村が 8,859 トン(4.6%)などと続いた。前年に比べ漁獲数量が増加したのは、八戸市など 8 市町村、減少したのは青森市、平内町など 14 市町村であった。

漁獲金額は八戸市が 197 億 9,202 万円以最も多く、全体の 42.9%を占めた。次いで平内町が 51 億 3,288 万円(11.1%)、むつ市が 34 億 6,793 万円(7.5%)などと続いた。前年に比べ増加したのはむつ市、東通村など 12 市町村、減少したのは青森市、八戸市など 10 市町村であった。



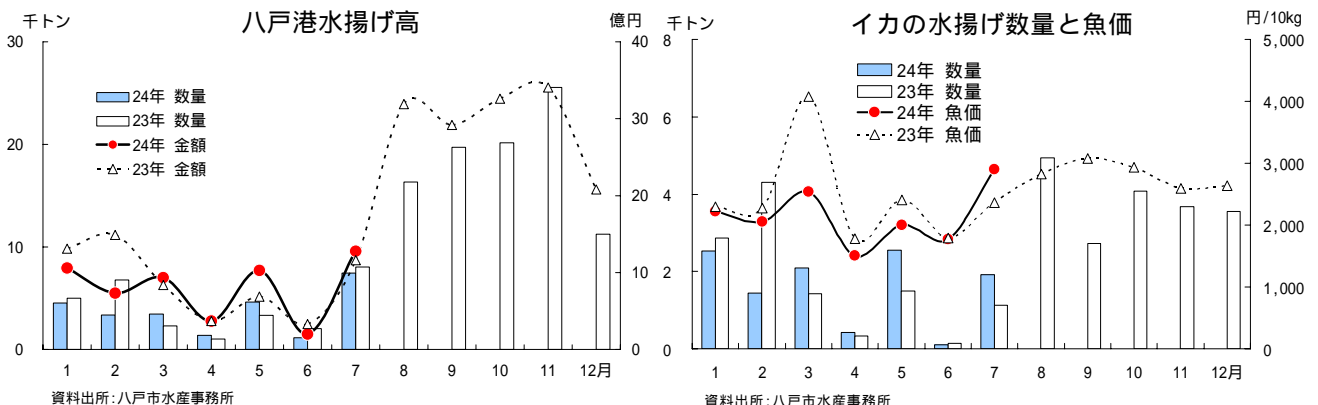
## 八戸港水揚げ

### イカ釣り漁の水揚げが大幅に増加

7月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比 7.5%減の 7,440 トン、金額は同 10.2%増の 12 億 7,765 万円となった。

イカ釣り漁は、数量が同 70.8%増の 1,921 トン、金額が同 109.7%増の 5 億 5,726 万円と大幅に増加した。船凍スルメイカは数量が同約 3 倍、金額が同約 2.5 倍と大幅に増加したほか、前年同月は全減となった船凍アカイカが好調な水揚げとなり金額はイカ釣り漁の約半分を占めた。この結果、平均単価は同 22.8%上昇の 2,901 円/10kg となった。

大中型旋網漁は、スルメイカやイワシの水揚げが中心であったが、サバが前年に比べ大幅に落ち込み、数量が同 37.4%減の 4,042 トン、金額が同 36.7%減の 4 億 2,049 万円と、数量、金額とも大幅に減少した。



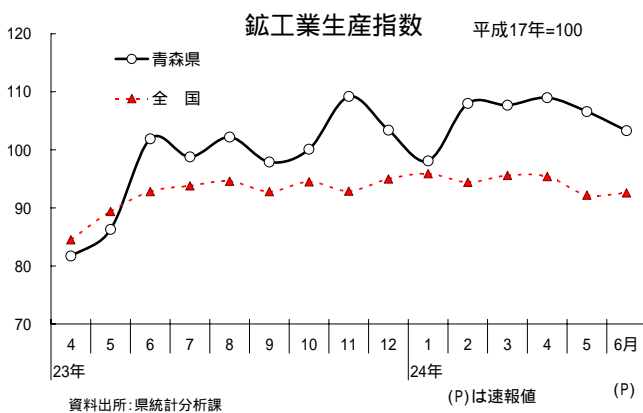
## 二 次 産 業

### 鉱工業生産

### 鉱工業生産指数、前月比 3.1%低下の 103.3

6月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成17年=100)は、前月比3.1%低下の103.3となった。主要6業種をみると、一般機械が同7.6%、電子部品・デバイスが同8.4%、電気機械が同17.7%それぞれ低下した。一方、ウェイトの高い食料品は同7.6%、鉄鋼は同6.1%、パルプ・紙は同3.7%それぞれ上昇した。このほかでは金属製品が同27.2%低下し、化学は同106.0%、窯業・土石は同1.8%それぞれ上昇した。原指数では前年同月比0.6%上昇の101.9となった。

一般機械、電子部品・デバイス、電気機械は海外経済減速の影響などから増勢に鈍さがうかがわれる。鉄鋼、パルプ・紙は緩やかな持ち直しの動きが続いている。



業 種 ( )内は一万分比ウェイト	季節調整済指数		原 指 数	
	平成17年 =100	前月比 (%)	平成17年 =100	前年同月 比(%)
鉱 工 業 (10000.0)	103.3	3.1	101.9	0.6
食 料 品 (2249.0)	97.9	7.6	95.7	7.9
一 般 機 械 (1254.7)	111.6	7.6	127.3	34.8
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス (1106.8)	128.5	8.4	130.0	4.0
鉄 鋼 (1008.6)	90.9	6.1	91.0	35.4
パ ル プ ・ 紙 (807.5)	92.1	3.7	72.4	132.1
電 気 機 械 (550.4)	128.2	17.7	130.5	9.6

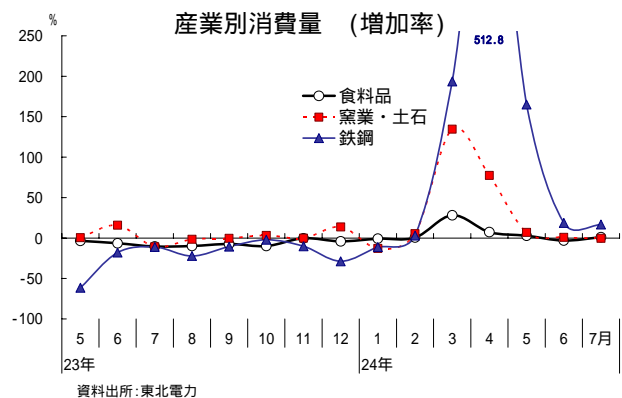
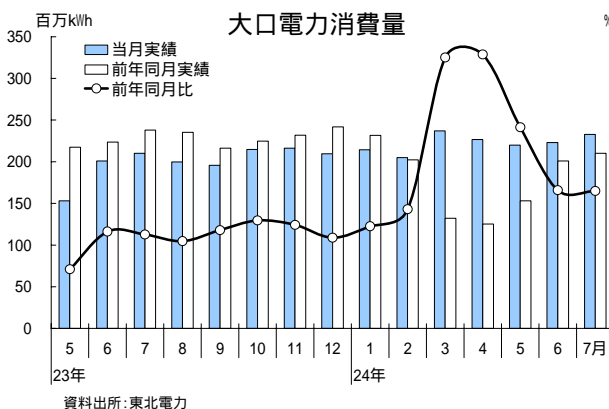
資料出所: 県統計分析課

### 大口電力

### 大口電力消費量、6ヶ月連続のプラス

7月の県内大口電力消費量は、前年同月比10.7%増の2億3,269万kWhとなり、6ヶ月連続のプラスとなった。うち製造業は同10.1%増の1億6,757万kWhとなった。製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、消費ウェイトの高い鉄鋼が同16.8%増、非鉄金属が同13.2%増、化学が同1.4%増、機械が同1.4%増、食料品が同1.0%増となった。一方、パルプ・紙は同3.7%減、窯業・土石は同0.4%減となった。

県内大口電力消費量は前年比増加幅の縮小がみられ、震災による落ち込みの反動の影響が収まってきている。

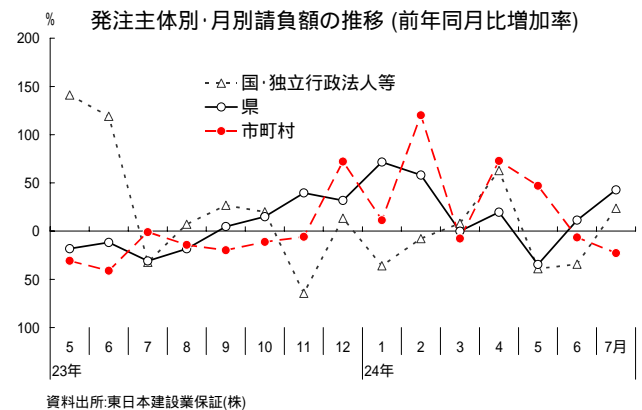
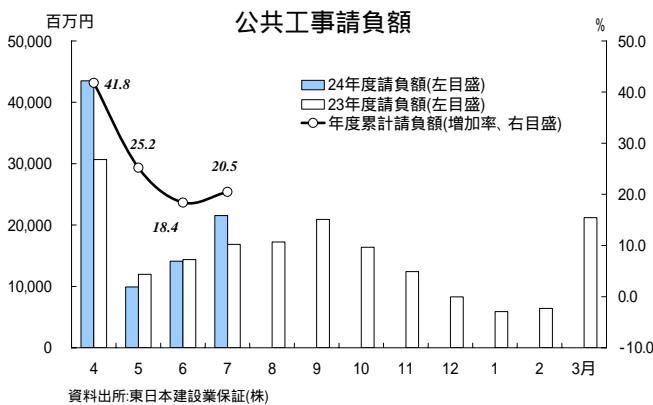


## 公共工事

### 公共工事請負額、3ヶ月ぶりのプラス

7月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比27.8%増の215億3,100万円となり、3ヶ月ぶりのプラスとなった。

当月の請負額は、国が国土交通省、防衛省などの増加により同46.8%増の65億4,900万円、県が農林水産部関連で三八地域県民局、西北地域県民局、下北地域県民局などの増加により同42.8%増の66億5,300万円とそれぞれ大幅に増加し、全体を押し上げた。その他では津軽西北広域連合病院事業管理者などで大幅な増加がみられた。一方、独立行政法人等は弘前大学、新幹線関連などの減少により同53.5%減の6億2,200万円、市町村は東通村、六ヶ所村などの減少により同22.8%減の47億800万円となった。

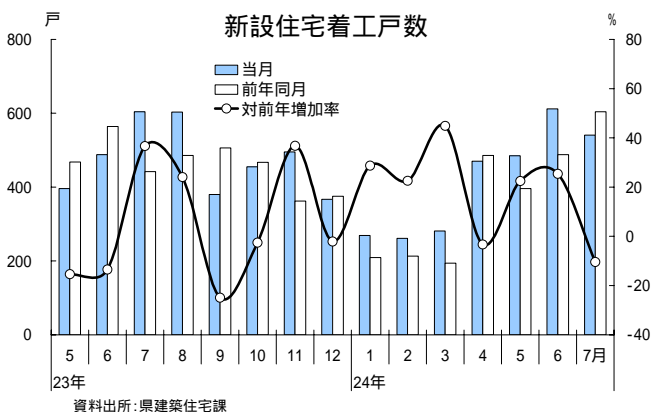


## 住宅着工

### 3ヶ月ぶりのマイナス、貸家が大幅に落ち込む

7月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比10.4%減の541戸と3ヶ月ぶりのマイナスとなった。利用関係別では、分譲住宅が同191.7%増となったものの、持家は同9.9%減、貸家は同38.2%減となった。地域別にみると、青森市、五所川原市で増加したものの、弘前市、八戸市、黒石市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、郡部で減少した。持家は青森市、十和田市、郡部などで減少した。貸家は青森市、弘前市、十和田市、むつ市、郡部などで減少した。分譲住宅は青森市で51戸増となった。

県内の住宅着工戸数は、このところ好調な伸びがみられた貸家が大幅に落ち込み、全体を押し下げた。



利用関係別戸数 (単位:戸,%)

	24年 7月	23年 7月	前年 同月比
持家	355	394	9.9
貸家	115	186	38.2
給与住宅	1	0	-
分譲住宅	70	24	191.7
総戸数	541	604	10.4

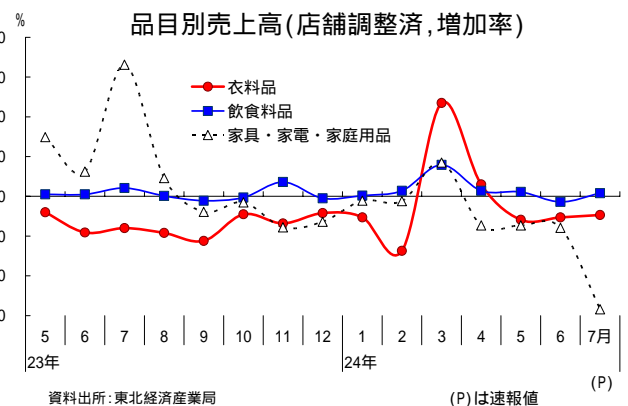
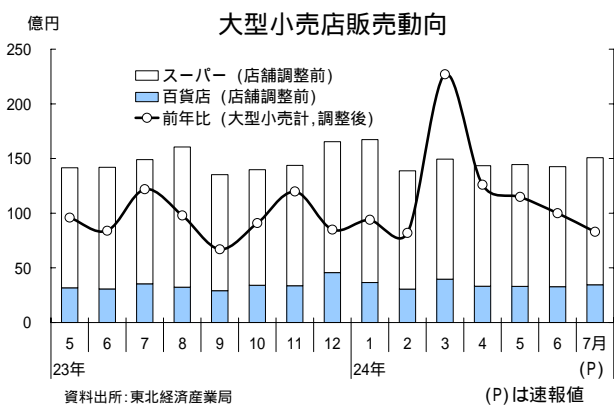
資料出所:県建築住宅課

# 三次産業

## 大型小売店販売

### 2ヶ月連続のマイナス

7月の県内大型小売店販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比1.7%減となり2ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同2.7%減と5ヶ月ぶりのマイナス、スーパーは同1.4%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。品目別では、衣料品が同4.7%減、家具・家電・家庭用品が同28.4%減となった。一方、ウェイトの高い飲食料品は同0.8%増、身の回り品は同12.3%増となった。衣料品は天候不順の影響などから、夏物衣料が低調であった。家具・家電・家庭用品は、昨年好調であった薄型テレビなどの家電製品が大幅に落ち込み、全体を押し下げた。飲食料品は生鮮果物、惣菜などで動きがみられた。身の回り品は旅行用品、服飾雑貨などが好調であった。

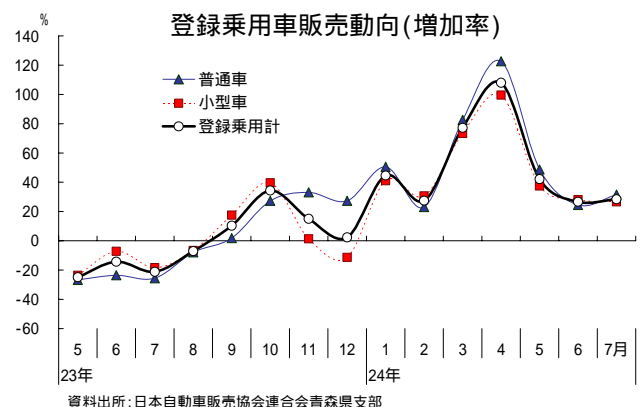
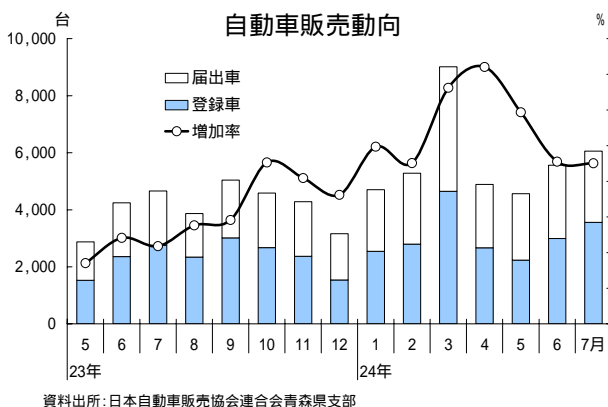


## 自動車販売

### 県内自動車販売、10ヶ月連続のプラス

7月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比30.1%増の6,060台と10ヶ月連続のプラスとなった。内訳別にみると、登録車は普通乗用車が同31.5%増、小型乗用車が同26.7%増、貨物車が同36.6%増となり、登録車合計では同29.1%増と11ヶ月連続のプラスとなった。届出車は、乗用車が同39.9%増、貨物車が同10.7%増となり、届出車合計では同31.5%増と10ヶ月連続のプラスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同28.4%増となり、全体では同32.5%増と11ヶ月連続のプラスとなった。

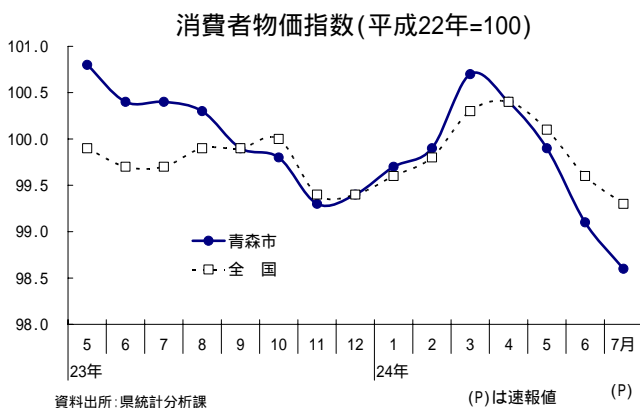
県内の自動車販売は、乗用車、貨物車も好調な売上が続いており、登録車、届出車(軽自動車)合計の1~7月累計では前年同期比47.9%増の4万77台と大幅プラスとなっている。



消費者物価指数

前月比 0.5%下落の 98.6、4ヶ月連続の下落

7月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100、速報値)は前月比0.5%下落、前年同月比1.8%下落の98.6となり、4ヶ月連続で下落した。主要費目別に前月と比べると、「被服及び履物」がシャツ・セーター・下着類などの値下がりにより4.1%下落、「食料」が生鮮果物などの値下がりにより0.9%下落、「光熱・水道」が灯油などの値下がりにより0.8%下落した。前年同月との比較では「教養娯楽」(4.0%)、「家具・家事用品」(3.3%)、「食料」(2.1%)、「被服及び履物」(1.9%)、「光熱・水道」(1.8%)などの変動が大きく、ほとんどの費目で下落した。なお、「生鮮食品を除く総合指数」は98.9となり、前月比0.4%下落、前年同月比1.8%下落となった。



費目別指数の動き(平成24年7月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	98.6	0.5	1.8
食料	97.0	0.9	2.1
住居	98.1	0.2	1.2
光熱・水道	106.5	0.8	1.8
家具・家事用品	93.4	0.3	3.3
被服及び履物	98.1	4.1	1.9
保健医療	99.1	0.1	0.6
交通・通信	100.5	0.6	1.6
教育	96.7	0.0	0.0
教養娯楽	93.3	0.4	4.0
諸雑費	103.5	0.3	0.1

資料出所:県統計分析課

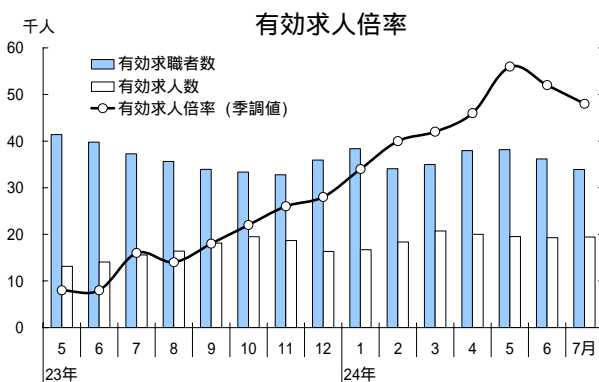
資料出所:県統計分析課

雇用動向

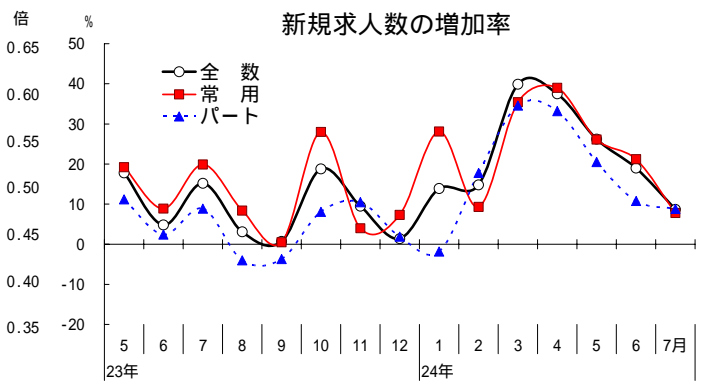
一服感がうかがわれるものの、全体としては上向きの動き

7月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比24.9%増の1万9,430人、有効求職者数は同9.1%減の3万3,900人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.02ポイント低下の0.59倍となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比7.8%増、臨時・季節求人数が同11.8%増、パート求人数が同8.8%増となり、全数では同8.7%増となった。主要産業別の新規求人動向では情報通信業、宿泊業などが減少したものの、製造業、小売業、運輸業、郵便業などで大幅に増加した。

県内の雇用情勢は、有効求人倍率が2ヶ月連続で低下したが、これまでの推移をみると比較的高めの水準にある。改善の動きに一服感がうかがわれるものの、全体としては上向きの動きが続いている。



資料出所:青森労働局



資料出所:青森労働局



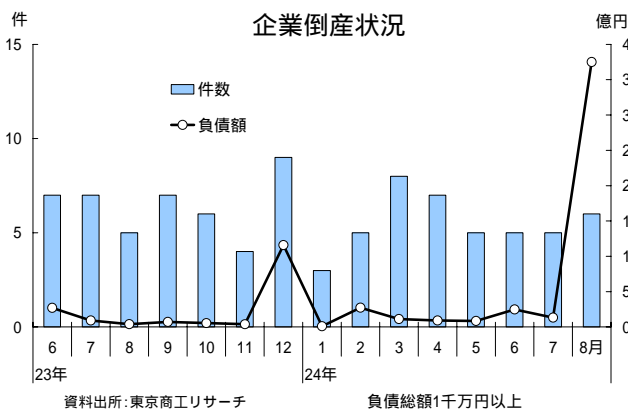
## 企業倒産

## 過去最大の大型倒産発生、負債総額 375 億 1,400 万円増

8月の県内企業倒産は、件数が前年同月比1件増の6件、負債総額は同371億500万円増の375億1,400万円となった。前月比では件数が1件増、負債総額は361億8,400万円増となった。

倒産の内訳をみると、業種別では小売業が2件、林業、建設業、製造業、運輸業が各1件となった。地域別では青森市、八戸市、五所川原市が各2件となった。倒産要因は他社倒産の余波、販売不振が各3件となった。

県内の企業倒産は、件数が1ケタ台にとどまったものの、(社)青い森農林振興公社の負債367億円と過去最大となる大型倒産が発生し、負債総額を大幅に押し上げた。また、単月の負債総額も過去最高を記録した。



業種別・原因別件数 (平成24年8月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業	1	放漫経営	
建設業	1	過小資本	
製造業	1	他社倒産の余波	3
卸売業		既往のシワ寄せ	
小売業	2	信用低下	
不動産業		販売不振	3
運輸・通信業	1	売掛金回収難	
サービス業ほか		在庫状況悪化	
合計	6	設備投資過大	
		その他	
		合計	6

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

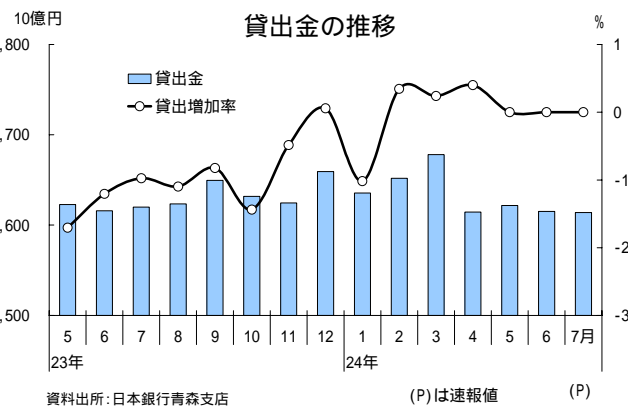
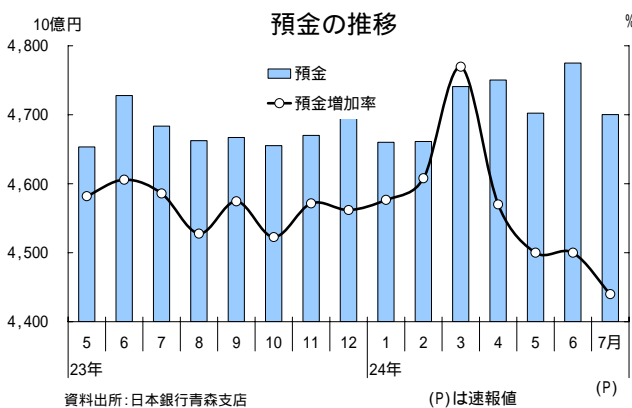
## 金融動向

## 預金のプラス幅、0.4%に縮小

7月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比0.4%増の4兆7,003億円、貸出金は同0.2%減の2兆6,139億円となった。

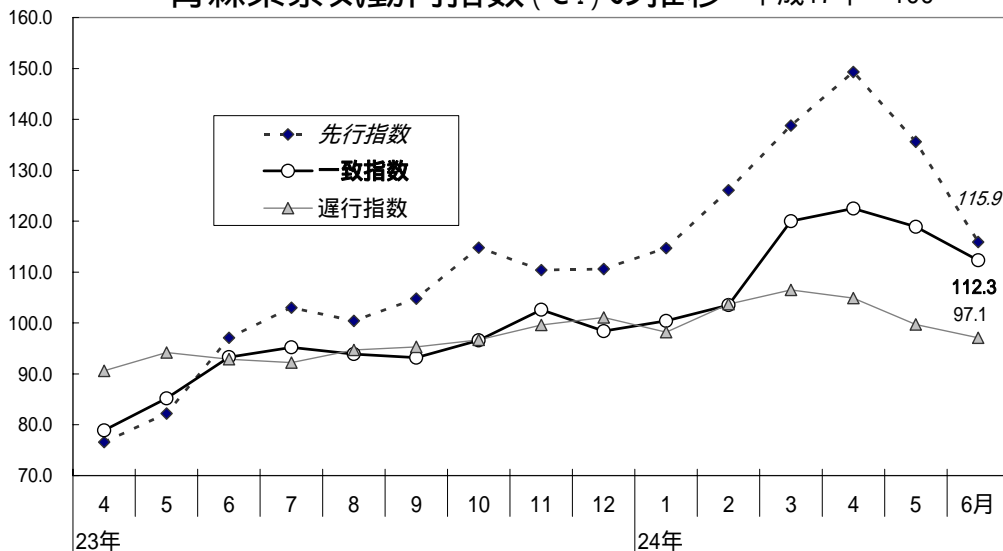
預金は公金預金がプラスに転じたものの、個人預金のプラス幅が縮小したほか、法人預金はマイナスに転じた。この結果、預金全体のプラス幅は前月比0.6ポイント縮小した。プラス幅が1%を下回るのは21年3月以来40ヶ月ぶりとなる。

一方、貸出金は個人向けのマイナス幅が縮小したものの、一般法人向けのマイナス幅が拡大した。この結果、貸出金のマイナス幅は前月比0.2ポイント拡大し、3ヶ月連続のマイナスとなった。



# 青森県景気動向指数

青森県景気動向指数 (CI) の推移 平成17年 = 100



資料出所: 県統計分析課

## 一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを、マイナスを で表  
下段: 寄与度

採用系列名	24年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
1. 大型小売店販売額(既存店)	0.29	0.39	3.79	1.77	0.45	0.57
2. 旅行取扱高	0.36	1.07	4.49	3.06	3.25	3.36
3. 鉱工業生産指数	1.18	2.01	0.02	0.28	0.61	0.82
4. 大口電力使用量	1.36	1.26	1.53	0.78	2.21	2.30
5. 有効求人倍率(全数)	1.66	1.69	0.53	1.30	1.88	1.47
6. 輸入通関実績(八戸港)	0.02	0.01	2.01	2.62	1.79	2.93
7. 東北自動車道IC利用台数	0.20	0.44	4.22	2.20	0.78	0.27

資料出所: 県統計分析課

## 景気動向指数 (CI : Composite Index) とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。CIには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. CIは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。CIが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

## 国内景気

### 概況

国内景気はこのところ一部に弱い動きがみられるものの、復興需要等を背景として緩やかに回復しつつある。個人消費は緩やかな増加傾向にある。生産はこのところ横バイとなっている。輸出は弱含んでいる。設備投資は緩やかに持ち直している。住宅建設はこのところ横バイとなっている。雇用情勢は依然として厳しさが残るものの、改善の動きがみられる。

#### 大型小売店販売（既存店ベース）

##### - 4ヶ月連続のマイナス -

7月の大型小売店販売は前年同月比4.4%減と4ヶ月連続のマイナスとなった。業態別にみると、百貨店が同3.3%減、スーパーが同5.0%減となった。商品別にみると、衣料品が同4.2%減、飲食料品が同3.3%減、その他商品が同7.1%減となった。

#### 住宅建設

##### - 2ヶ月連続のマイナス -

7月の新設住宅着工戸数は前年同月比9.6%減の7万5,421戸と2ヶ月連続のマイナスとなった。利用関係別にみると、持家が同12.5%減と4ヶ月ぶり、貸家が同14.7%減と7ヶ月ぶりのそれぞれマイナスとなった。一方、分譲住宅は同1.2%増とプラスに転じた。

#### 企業倒産

##### - 大型倒産2件が負債総額を押し上げる -

7月の企業倒産は、件数が前年同月比5.1%減の1,026件、負債総額は同227.8%増の7,241億円となった。倒産件数は7月としては過去20年間で2番目に少ない低水準となった。負債総額は貸金業、海運業の2社による大型倒産(約4,827億円)が全体を大幅に押し上げた。

#### 為替動向

##### - 8月末終値、78円45銭 -

8月の東京為替市場は79円前半でスタート。月の前半は78円半ばでの小動きで推移した。中旬は米国の景気減速懸念が和らぎ長期金利が上昇、日米金利差拡大の見方から円売りドル買いが強まり、79円半ばまで円安が進んだ。23日以降は再び米国が追加金融緩和へ踏み切るとの思惑から円買いドル売りが進み、月末まで78円半ばでの小動きが続いた。月末終値は78円45銭。

#### 鉱工業生産指数

##### - 前月比1.2%低下の91.5 -

7月の鉱工業生産指数は前月比1.2%低下の91.5(季節調整値)となった。電子部品・デバイス工業、一般機械工業等が低下に寄与した。品目別ではモス型半導体集積回路(メモリ)、蒸気タービン部品等であった。なお、生産予測調査によると、8月は電子部品・デバイス工業、一般機械工業等の上昇により当月比0.1%上昇を予測。

#### 新車販売（除く軽自動車）

##### 前年同月比8.7%増、12ヶ月連続プラス

8月の国内新車販売は前年同月比7.3%増の23万2,372台と12ヶ月連続のプラスとなった。内訳別では、乗用車が同8.7%増、貨物車は同0.4%減となった。乗用車は普通乗用車が同7.2%増と11ヶ月連続のプラス、小型乗用車が同10.1%増と12ヶ月連続のプラスとなった。

#### 完全失業率

##### 前月比横バイの4.3%

7月の完全失業率は前月比横バイの4.3%となった。完全失業者数は前年同月比24万人減の288万人となり、26ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、自己都合が同11万人減の104万人、リストラ等勤め先都合が同14万人減の72万人などとなった。

#### 消費者物価指数

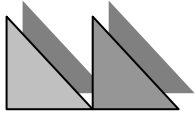
##### - 3ヶ月連続の下落 -

7月の全国消費者物価指数(2010年=100)は99.3となり、前月比0.3%下落、前年同月比0.4%下落となり、3ヶ月連続で下落した。前月に比べ食料、被服及び履物などが下落した。生鮮食品を除く総合指数は99.5となり、前月比0.2%下落、前年同月比0.3%下落した。

#### 国際収支

##### - 黒字幅が縮小、前年同月比40.6%減 -

7月の経常収支額は黒字幅が縮小し、前年同月比40.6%減の6,254億円となった。所得収支の黒字幅が拡大したものの、貿易収支が赤字に転化し、サービス収支、経常移転収支の赤字幅が拡大した。内訳は、所得収支が1兆4,221億円の黒字となった。一方、貿易収支は3,736億円、サービス収支は3,462億円、経常移転収支は770億円のそれぞれ赤字となった。



# 今月の統計

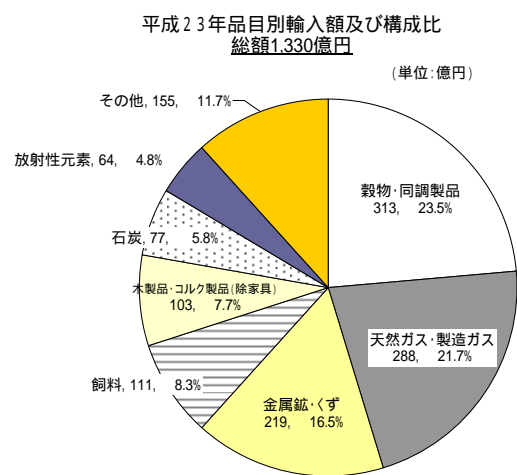
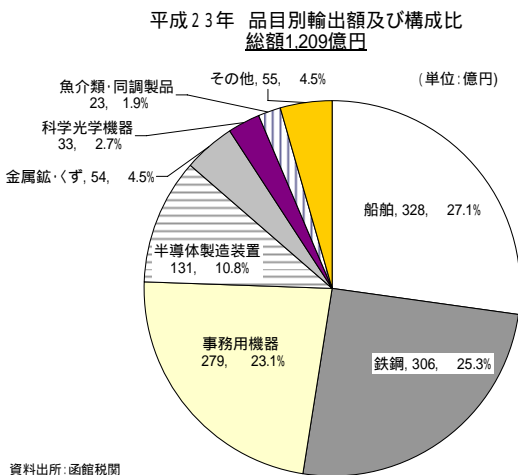
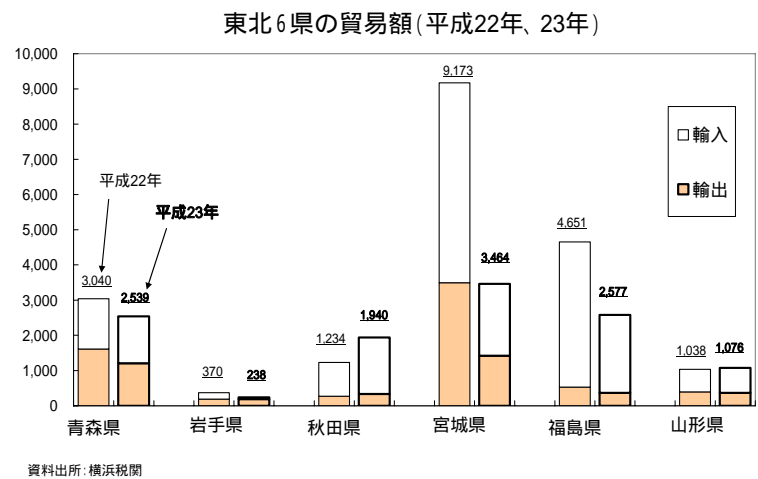
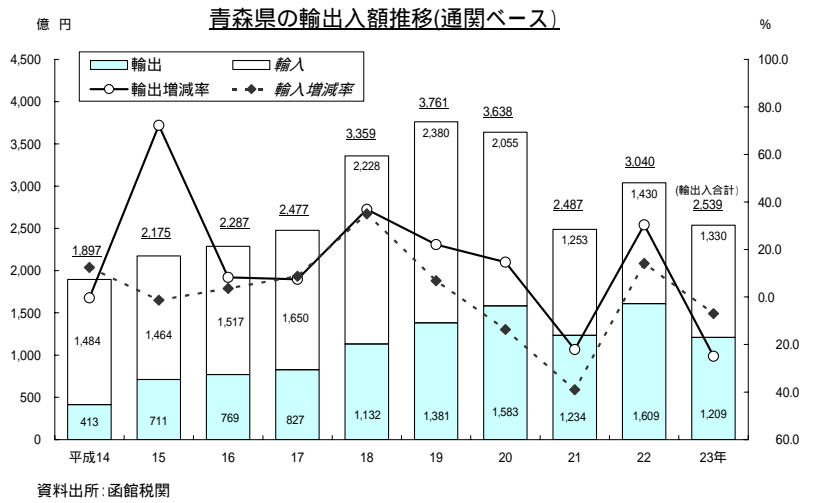
## 青森県の貿易取引

**平**成 23 年の青森県の貿易取引額(通関ベース)は輸出入合計で前年比 16.5%減の 2,539 億円となった。うち輸出は、同 24.9%減の 1,209 億円、輸入は 7.0%減の 1,330 億円となった。なお、本県の主要産品であるリンゴは他県の貿易港から輸出されるため、この統計には反映されていない。

3月に発生した東日本大震災の影響により貿易額が落ち込み、特に輸出額は大幅に減少した。東北6県の状況を見ると、震災の被害が大きかった宮城、福島で大幅な減少がみられた。一方、港湾を日本海側に持つ秋田は前年比 57.3%増、山形は同 3.7%増加となった。

**輸**出入品目を構成比でみると、輸出は船舶が 27.1%でトップとなり、次いで鉄鋼(25.3%)、事務用機器(23.1%)、半導体製造装置(10.8%)などの順となった。一方、輸入は、食料品加工産業の原材料である穀物・同調製品が 23.5%でトップとなり、次いで天然ガス・製造ガス(21.7%)、金属鉱・くず(16.5%)、飼料(8.3%)、ウッドチップ等の木製品・コルク製品(7.7%)などの順となった。

輸出の鉄鋼や輸入の金属鉱・くず、木製品・コルク製品(ウッドチップ等)の落ち込みが目立っており、本県の貿易のウェイトが高い県南地区の鉄鋼、パルプ・紙などへの震災被害が大きかったことがうかがわれる。



県内経済

- 2日 青い森農林振興公社が民事再生法申請**  
 県が50%出資する社団法人青い森農林振興公社は青森地裁に民事再生法の適用を申請した。負債総額は約367億円。
- 12日 ロンドン五輪閉幕、県勢は「金」2個、「銀」3個**  
 ロンドンで開催されていた夏季オリンピックが閉幕し、青森県関係者は「金」2個、「銀」3個を獲得した。レスリング女子の伊調馨(八戸市)、小原日登美(八戸市)が金メダル、アーチエリー男子個人の古川高晴(青森市)が銀メダルを獲得したほか、卓球女子団体の福原愛、バドミントン女子ダブルスの藤井端希、垣岩令佳(いずれも青森山田出身)が銀メダルを獲得した。
- 20日 盛岡 八戸間の新幹線、夏の利用状況は前年比10%増**  
 JR東日本の発表によると、東北新幹線・盛岡 八戸間の夏期間(7月20日~8月19日)の利用状況は前年同期比10%増、前々年比29%増の65万5千人となった。また、お盆期間(8月9日~19日)の利用状況は前年同期比12%増、前々年比27%増の29万3千人となった。
- 23日 光星学院3季連続の準優勝**  
 第94回全国高校野球選手権大会決勝戦で、本県代表の光星学院は大阪桐蔭に0-3で敗れ、3季連続での準優勝となった。
- 24日 県内新規高卒者の求人、前年比4割増**  
 青森労働局が発表した来春の県内新規高卒者に対する求人状況(7月末現在)によると、県内企業の求人数は介護関連、建設業などで大幅な伸びがみられ、前年同月比40.7%増(321人増)の1,110人となった。

国内経済

- 1日 2012年度の設備投資計画額、前年度実績比12.2%増**  
 日本政策投資銀行が発表した2012年度の設備投資計画調査によると、全産業の国内投資計画額は前年度実績比12.2%増の15兆9,853億円となり、5年ぶりのプラスとなる。
- 7日 日本の人口、3年連続で減少**  
 総務省が発表した住民基本台帳に基づく2012年3月末時点の人口動態調査によると、日本人の総人口は前年同期比0.21%減(26万3,727人減)の1億2,665万9,683人となった。3年連続で前年を下回り、減少率、減少数とも過去最大となった。
- 8日 街角景気、4ヶ月ぶりに改善**  
 内閣府が発表した7月の景気ウォッチャー調査によると、景気の実感を示す「街角景気」の現状判断指数は前月比0.4ポイント上昇の44.2となり、4ヶ月ぶりに改善した。一方、先行き判断指数は同0.8ポイント低下の44.9となり、3ヶ月連続で悪化した。
- 13日 4-6月期のGDP、4期連続のプラス成長**  
 内閣府が発表した2012年4-6月期の国内総生産(GDP)速報値は、物価変動の影響を除いた実質で0.3%、年率換算で1.4%となり、4・四半期連続のプラス成長となった。
- 25日 心の豊かさ、ゆとりある生活が64.0%**  
 内閣府が発表した「国民生活に関する世論調査」によると、今後の生活について「心の豊かさやゆとりのある生活に重きを置きたい」と考える人の割合は前回調査(昨年10月)比2.6ポイント増の64.0%となり、過去最高となった。
- 28日 月例経済報告、10ヶ月ぶりに下方修正**  
 政府は8月の月例経済報告で、景気の基調判断を「このところ一部に弱い動きがみられる」とし、10ヶ月ぶりに下方修正した。

# 全国の主要経済指標

年次及び月	日銀券 平均発行高 (億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行 貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2005年 = 100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2006(H18)	744,033	528,667	415,577	1.766	13,245	55,006	104.3	1,290,391	95,710	211,450
2007(H19)	754,389	545,043	417,639	1.945	14,091	57,279	107.4	1,060,741	92,265	211,988
2008(H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	103.8	1,093,519	95,815	209,511
2009(H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	81.1	788,410	98,966	197,758
2010(H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	94.4	813,126	87,316	195,791
2011(H23)	792,805	598,688	425,858	1.437	12,734	35,929	92.2	834,117	86,657	195,933
2011(H23) 5	794,811	595,732	419,674	1.512	1,071	2,527	89.4	63,726	3,599	15,774
6	785,057	596,031	419,060	1.508	1,165	2,164	92.8	72,687	6,543	16,033
7	791,240	589,939	419,580	1.501	1,081	2,209	93.8	83,398	7,011	17,843
8	789,717	590,572	418,217	1.496	1,026	7,940	94.6	81,986	7,751	15,574
9	788,044	594,121	424,064	1.473	1,001	2,123	92.8	64,206	11,141	14,728
10	787,220	591,365	420,682	1.474	976	1,559	94.5	67,273	9,364	16,057
11	789,721	596,515	420,770	1.469	1,095	1,877	92.9	72,635	6,746	16,370
12	815,720	598,668	425,858	1.452	1,032	3,567	95.0	69,069	7,717	20,910
2012(H24) 1	812,462	596,371	422,359	1.452	985	3,494	95.9	65,984	5,725	17,383
2	798,710	597,558	423,739	1.442	1,038	6,313	94.4	66,928	7,694	14,659
3	804,460	611,205	430,289	1.428	1,161	3,339	95.6	66,597	14,373	16,032
4	806,725	607,936	425,590	1.424	1,004	2,290	95.4	73,647	3,996	15,664
5	807,450	607,195	423,633	1.421	1,148	2,826	92.2	69,638	5,309	15,753
6	802,079	609,717	426,567	1.409	975	1,816	92.6	72,566	8,160	15,682
7	809,465			1.403	1,026	7,241	P 91.5	75,421	9,060	P 17,121
前月比 %	0.9	0.4	0.7	-0.006% 引	5.2	298.7	-1.2	3.9	11.0	-0.5
前年同月比%	2.3	2.3	1.8	-0.098% 引	-5.1	227.8	-1.0	-9.6	29.2	-4.4
資料出所	日本銀行			東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省			

企業倒産は負債額1千万円以上

鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年 = 100	消費者 物価指数 2010年 = 100	景気動向 指数 (一致) 2005年 = 100	完全 失業率 (季調済) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年月末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月平均) (円 / US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年 = 100)
2006(H18)	4,642	99.3	100.7	-	4.1	17,225.83	198,488	895,320	116.31	158.921
2007(H19)	4,400	101.1	100.7	-	3.8	15,307.78	247,938	973,365	117.77	172.334
2008(H20)	4,228	105.7	102.1	-	4.0	8,859.56	163,798	1,030,647	103.39	147.854
2009(H21)	3,924	100.1	100.7	-	5.1	10,546.44	132,867	1,049,397	93.61	153.228
2010(H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	171,706	1,096,185	87.75	168.232
2011(H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.5	8,455.35	96,289	1,295,841	79.76	165.195
2011(H23) 5	200	101.9	99.9	90.0	4.6	9,693.73	5,859	1,139,524	81.23	179.801
6	295	101.9	99.7	92.2	4.6	9,816.09	5,389	1,137,809	80.51	178.005
7	313	102.2	99.7	92.7	4.6	9,833.03	10,537	1,150,877	79.47	177.515
8	273	102.1	99.9	92.8	4.4	8,955.20	4,363	1,218,501	77.22	174.503
9	392	101.9	99.9	92.4	4.2	8,700.29	16,107	1,200,593	76.84	168.897
10	321	101.1	100.0	93.3	4.4	8,988.39	5,339	1,209,882	76.77	169.095
11	324	101.0	99.4	92.4	4.5	8,434.61	1,261	1,304,763	77.54	166.651
12	290	101.0	99.4	94.6	4.5	8,455.35	2,657	1,295,840	77.85	165.195
2012(H24) 1	359	100.9	99.6	94.7	4.6	8,802.51	-4,556	1,306,668	76.97	169.100
2	449	101.1	99.8	95.7	4.5	9,723.24	12,026	1,302,877	78.45	171.372
3	641	101.6	100.3	97.3	4.5	10,083.56	13,074	1,288,703	82.43	173.106
4	306	101.7	100.4	97.0	4.6	9,520.89	P 3,338	1,289,542	81.49	172.526
5	338	101.2	100.1	95.8	4.4	8,542.73	P 2,151	1,277,716	79.70	166.968
6	433	100.5	99.6	94.1	4.3	9,006.78	P 4,333	1,270,547	79.32	164.232
7	445	P 100.1	99.3	P 92.8	P 4.3	8,695.06	P 6,254	1,272,777	79.02	163.420
前月比 %	2.9	-0.4	-0.3	-1.3% 引	0.0% 引	-3.5	-	0.2	-0.4	-0.5
前年同月比%	42.3	-2.1	-0.4	-	-0.3% 引	-11.6	-40.6	10.6	-0.6	-7.9
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省		日本銀行	日経新聞社

日経平均株価は年末、月末の終値ベース

# 青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産(負債額1千万円以上)		手形交換高 (百万円)	不渡手形 実数 (百万円)
	(人)	社会動態(人) (転入・転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)		
2006(H18)	1,434,936	-9,224	-372	43,241	27,627	119	34,015	768,362	1,499
2007(H19)	1,421,519	-9,993	-557	43,546	28,374	102	30,332	770,111	1,408
2008(H20)	1,406,738	-8,573	-601	43,889	27,585	135	54,700	613,664	4,403
2009(H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	475,903	1,093
2010(H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	462,688	705
2011(H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	471,228	550
2011(H23) 6	1,364,631	27	-138	47,278	26,159	7	2,707	36,895	33
7	1,364,252	61	-3	46,835	26,199	7	917	29,686	4
8	1,363,895	146	-76	46,625	26,234	5	409	47,848	123
9	1,363,591	-110	-49	46,671	26,494	7	713	41,548	65
10	1,363,038	35	-130	46,551	26,318	6	536	41,005	16
11	1,362,455	-48	-101	46,701	26,246	4	393	39,264	9
12	1,361,835	-56	-536	47,209	26,593	9	11,591	36,838	2
2012(H24) 1	1,361,053	-236	341	46,601	26,355	3	114	47,397	40
2	1,360,012	-320	-125	46,614	26,517	5	2,741	40,687	43
3	1,358,799	-4,869	-110	47,408	26,781	8	1,124	34,744	15
4	1,353,174	202	-185	47,504	26,145	7	906	44,482	49
5	1,352,715	-34	111	47,023	26,218	5	843	50,572	119
6	1,352,007	34	-218	47,748	26,151	5	2,480	31,877	14
7	1,351,462	-46	-57	P 47,003	P 26,139	5	1,330	44,160	32
8	1,350,937					6	37,514		
前月比 %	-0.0	-	-	-1.6	-0.0	20.0	2,720.6	38.5	27.0
前年同月比%	-1.0	-	-	0.4	-0.2	20.0	9,072.1	48.8	673.3
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		青森県銀行協会		

人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数  
 実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

日銀券の年次計数は年度累計  
 手形交換高、不渡手形実数の年次の欄は年度計数

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2005年 = 100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額 (百万円)		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2006(H18)	104.2	7,574	4,316	2,760	840	187,569	68,377	0.65	0.44
2007(H19)	110.2	6,139	3,562	2,188	687	188,540	66,071	0.70	0.48
2008(H20)	107.3	6,457	3,305	2,630	672	172,034	60,381	0.57	0.38
2009(H21)	88.1	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.53	0.29
2010(H22)	100.4	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.64	0.39
2011(H23)	97.1	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.75	0.46
2011(H23) 6	101.9	488	323	143	55	14,383	4,097	0.64	0.39
7	98.8	604	394	186	66	16,851	4,657	0.76	0.43
8	102.2	603	405	173	67	17,237	6,482	0.66	0.42
9	97.9	380	257	104	43	20,926	11,129	0.70	0.44
10	100.1	455	264	152	47	16,390	5,628	0.82	0.46
11	109.2	495	286	187	49	12,413	3,819	0.76	0.48
12	103.4	367	218	121	37	8,296	2,988	0.82	0.49
2012(H24) 1	98.1	269	104	146	23	5,887	2,211	0.80	0.52
2	108.0	261	95	82	25	6,416	1,094	0.94	0.55
3	107.9	281	157	99	29	21,196	4,647	0.80	0.56
4	109.0	470	293	144	50	43,499	6,392	0.95	0.58
5	106.6	485	303	154	51	9,908	1,598	0.93	0.63
6	P 103.3	612	372	213	66	14,104	4,564	0.83	0.61
7		541	355	115	60	21,531	6,653	0.89	0.59
前月比 %	-3.1	-11.6	-4.6	-46.0	-9.0	52.7	45.8	0.06 <sup>ホ</sup> イト	-0.02 <sup>ホ</sup> イト
前年同月比%	0.6	-10.4	-9.9	-38.2	-9.2	27.8	42.8	0.13 <sup>ホ</sup> イト	0.16 <sup>ホ</sup> イト
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による  
 公共工事請負額の年次の欄は年度計数

求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断DI)	おおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2006(H18)	175,587	30,755	46,385	100.3	299,079	-	21,959	-	-
2007(H19)	172,288	29,096	44,637	100.0	286,305	-	18,495	-	-
2008(H20)	172,323	27,157	42,722	102.4	291,752	-	17,926	-	-
2009(H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010(H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011(H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,425	-	-
2011(H23) 6	14,199	2,360	3,457	100.4	265,637	11,157	1,300	-	-
7	14,901	2,759	3,772	100.4	251,128	10,772	1,110	54.2	-
8	16,064	2,343	3,005	100.3	271,407	11,379	1,285	-	-21.6
9	13,526	3,013	4,051	99.9	257,983	9,235	1,060	-	-
10	13,981	2,674	3,697	99.8	286,807	8,401	865	49.0	-
11	14,384	2,367	3,222	99.3	275,235	8,001	901	-	-8.9
12	16,538	1,540	2,387	99.4	322,771	8,350	913	-	-
2012(H24) 1	16,733	2,545	3,797	99.7	283,991	14,796	2,297	49.5	-
2	13,882	2,797	4,263	99.9	249,716	9,778	1,250	-	6.4
3	14,954	4,650	7,206	100.7	296,413	8,332	1,016	-	-
4	14,352	2,667	4,036	100.4	302,171	8,293	948	47.8	-
5	14,455	2,231	3,717	99.9	272,272	10,179	1,288	-	10.1
6	14,261	2,991	4,616	99.1	240,529	9,234	1,020	-	-
7	P 15,071	3,562	4,999	98.6	264,972	9,334	1,003	50.3	-
前月(期)比%	-	19.1	8.3	-0.5	10.2	1.1	-20.8	2.5ポイント	3.7ポイント
前年同月(期)比%	-1.7	29.1	32.5	-1.8	5.5	-13.3	-9.6	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (ト)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (ト)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2006(H18)	294,887	288	173	166,437	24,155	12,033	79,281	101,020	143,467
2007(H19)	297,834	282	184	146,385	24,442	10,837	65,441	127,210	172,534
2008(H20)	312,042	234	136	129,647	23,303	14,006	39,184	144,333	166,315
2009(H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010(H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011(H23)			214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2011(H23) 6	20,409	274	-	2,034	331	864	2,659	7,684	9,171
7	14,206	291	-	8,045	1,160	1,570	3,611	15,232	7,684
8	5,560	314	-	16,341	3,190	946	1,613	8,173	8,795
9	20,807	240	146	19,716	2,920	508	1,664	7,053	15,092
10	21,286	305	219	20,160	3,260	572	2,566	16,085	10,943
11	20,215	327	214	25,544	3,407	593	2,118	11,879	9,221
12	23,092	360	220	11,237	2,080	260	2,048	6,742	11,143
2012(H24) 1	26,530	346	227	4,524	1,059	556	2,029	7,514	8,034
2	25,365	351	256	3,370	733	511	2,826	8,681	10,499
3	23,252	375	270	3,449	935	261	4,260	17,741	10,449
4	18,898	391	297	1,386	369	548	2,474	8,059	10,639
5	16,413	413	-	4,619	1,028	615	3,550	10,543	10,520
6	11,130	435	-	1,144	200	984	1,319	7,479	8,784
7	7,291	487	-	7,440	1,278	546	1,183	4,902	11,002
前月比 %	-34.5	12.0	-	550.3	-60.6	-44.5	-10.3	-34.5	25.3
前年同月比%	-48.7	67.4	-	-7.5	10.2	-65.2	-67.2	-67.8	43.2
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

りんご年次欄はりんご年度の計数



### 青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			パスポート 発行件数
	気温 (℃)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2011(H23)	10.6	1,570.5	1,541.9	16,435
2011(H23) 6	18.2	92.0	174.1	1,217
7	22.9	52.0	166.8	1,174
8	24.2	112.0	197.5	1,736
9	20.4	345.0	131.2	1,493
10	13.3	96.5	150.9	1,798
11	8.1	148.5	91.2	1,554
12	0.0	211.0	31.5	1,398
2012(H24) 1	-2.6	143.0	47.2	1,847
2	-2.5	114.5	65.2	1,512
3	1.8	101.5	101.0	1,493
4	7.2	70.0	182.4	1,521
5	13.5	58.5	181.0	1,590
6	17.0	21.0	218.4	1,466
7	21.9	243.0	195.7	1,640
前月比 %	4.9	222.0ml	-22.7h	11.9
前年同月比 %	-1.0	191.0ml	28.9h	39.7
資料出所	気象庁			外務省

### 県内主要都市・地区各種指標

年次及び期	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2010 (H22)			
1~3月	-31.6	-12.8	-35.8
4~6月	-42.6	-23.8	-32.1
7~9月	-34.5	-17.4	-8.5
10~12月	-22.6	-34.1	-9.1
2011 (H23)			
1~3月	-20.7	-31.6	-33.3
4~6月	-10.3	-33.3	-30.4
7~9月	-12.0	-43.6	-15.3
10~12月	2.5	-25.0	-6.3
2012 (H24)			
1~3月	16.3	-8.8	6.9
4~6月	15.9	-5.7	15.3
7~9月	-20.5	-14.7	8.6
資料出所	青森銀行BSI('12.7~9月期は見通し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2011(H23) 6	298,211	182,637	236,525	540	286	540	117	76	129
7	298,191	182,563	236,583	735	282	596	147	75	124
8	298,271	182,555	236,613	567	246	513	146	59	147
9	298,140	182,619	236,588	789	336	629	70	44	71
10	298,033	182,532	236,535	681	300	596	117	69	101
11	297,929	182,524	236,483	546	239	572	88	73	104
12	297,762	182,503	236,494	400	174	338	72	49	128
2012(H24) 1	297,618	182,487	236,434	563	379	571	49	33	55
2	297,348	182,339	236,390	671	304	617	37	80	88
3	297,074	182,157	236,339	1,298	560	873	58	41	56
4	296,012	180,917	235,464	605	288	645	128	67	121
5	296,247	181,543	235,444	580	212	520	101	55	136
6	296,154	181,524	235,405	714	345	616	174	65	165
7	296,070	181,400	235,401	954	351	840	163	66	119
8	296,053	181,262	235,562						
前月比 %	-0.0	-0.1	0.1	33.6	1.7	36.4	-6.3	1.5	-27.9
前年同月比 %	-0.7	-0.7	-0.4	29.8	24.5	40.9	10.9	-12.0	-4.0
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企業倒産						
	青森市	弘前市	八戸市	青森市		弘前市		八戸市		
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2011(H23) 6	0.30	0.27	0.34	2	1,540	2	1,025	1		91
7	0.32	0.26	0.39	3	367	1	200	0		0
8	0.36	0.32	0.49	1	56	2	230	1		53
9	0.39	0.39	0.54	2	167	3	428	2		118
10	0.43	0.48	0.55	2	242	3	194	0		0
11	0.45	0.49	0.65	1	40	1	150	1		47
12	0.42	0.41	0.67	2	1,400	1	18	0		0
2012(H24) 1	0.32	0.31	0.56	1	46	0	0	1		48
2	0.32	0.30	0.48	0	0	0	0	2		2,015
3	0.47	0.36	0.57	2	98	2	350	1		170
4	0.52	0.43	0.61	1	240	1	127	1		150
5	0.44	0.45	0.59	4	693	0	0	0		0
6	0.42	0.43	0.61	2	240	0	0	1		340
7	0.44	0.39	0.69	1	100	0	0	2		560
8	0.45	0.46	0.69	2	37,268	0	0	2		61
前月比 %	0.01 ポイント	0.07 ポイント	0.00 ポイント	100.0	37,168.0	-	-	0.0		-89.1
前年同月比 %	0.09 ポイント	0.14 ポイント	0.20 ポイント	100.0	66,450.0	-100.0	-100.0	100.0		15.1
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店						

有効求人倍率は原数値による